



S-Stage ボアアップキット 81cc 取扱説明書

商品番号：01-05-510

ボア径：48.5mm ストローク：44mm（ノーマル） 排気量：81.2cc
適応車種およびフレーム番号

Today: AF61-1000001~

Dio : AF62-1000001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA（NGK）または、U24FSR-U（DENSO）に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切 負いかねます。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎この取扱説明書の取り付け要領はTodayの車両を主体としておりますので、Dioには合わない場合があります。
- ◎当製品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。



注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（事故につながる恐れがあります。）

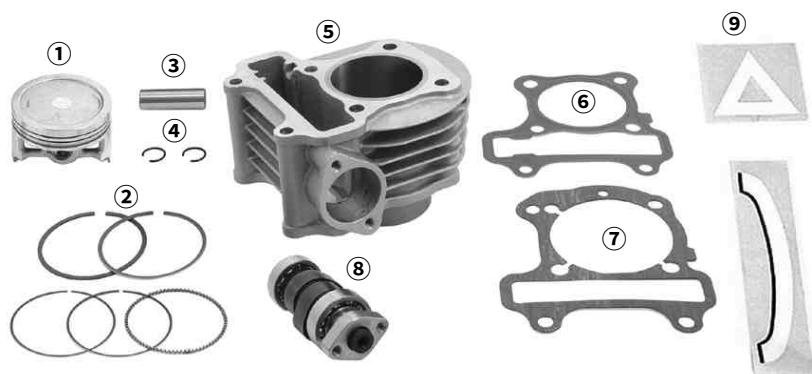
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

○ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まる場所まで締めましょう。
- ◇ネジを緩めるという事は、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回す事をいい、取り外すという事はネジが取れるまで反時計方向に回す事をいいます。
- ◇ネジを締めるという事は、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
- ◇トルクレンチを用意する事が出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

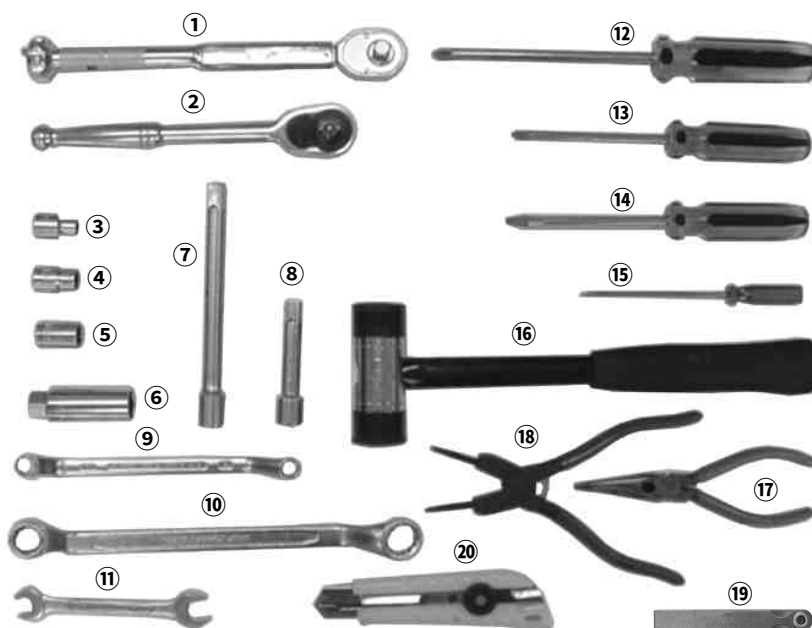
～商 品 内 容～

キット内容



番号	名 称	数量
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	カムシャフト	1
9	原付2種マークセット	1

取り付けに使用する工具等



番号	名 称
1	トルクレンチ
2	ラチェットレンチ
3	ソケット 8mm
4	ソケット 10mm
5	ソケット 12mm
6	プラグソケット 16mm
7	エクステンションバー 中
8	エクステンションバー 小
9	メガネレンチ 9mm
10	メガネレンチ 14mm
11	スパナレンチ 10-12mm
12	プラスドライバー大
13	プラスドライバー中
14	マイナスドライバー中
15	マイナスドライバー極細先
16	プラスチックハンマー
17	ラジオペンチ
18	スナップリングプライヤー穴用
19	シクネスゲージ
20	スクレーパーまたはカッターナイフ
	ウエス
	エンジンオイル

～取 り 付 け 要 領～

※水平で安全な場所でスタンドを立て、車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

●取り外し

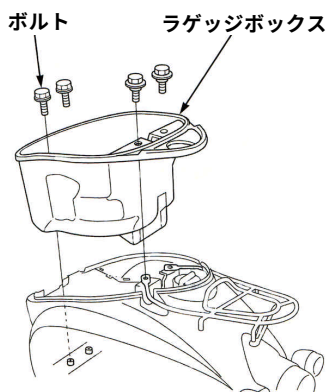
★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

①ボディーカバーの取り外し

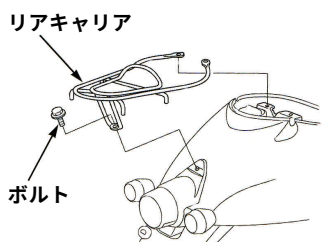
◇メインスイッチキーでシートを開け、ボルト4本を取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
ラチェットレンチ



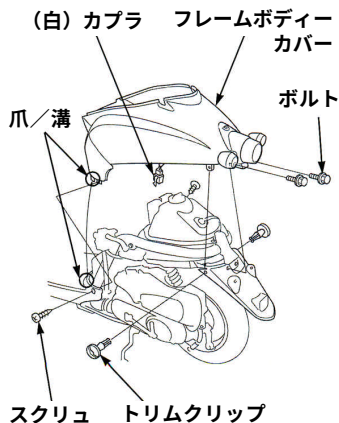
◇ボルト1本を取り外し、リアキャリアを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



◇フロアパネルとボディーカバーを止めているスクリュ2本、リアフェンダーとボディーカバーを止めているトリムクリップ2個、ボルト2本を取り外す。

使用工具
メガネレンチ 10mm
プラスドライバー大



※トリムクリップは、中央部をドライバー等で押し、ロックを外してから取り外す。



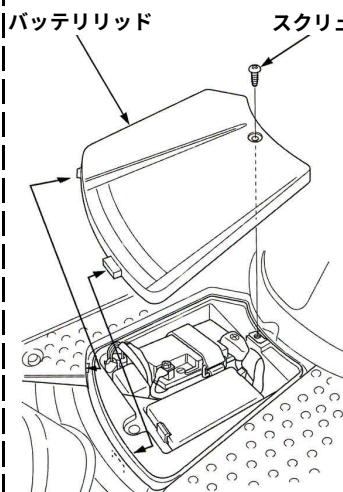
◇ボディーカバー後部を引き上げ前部の爪3箇所をフロアパネルの溝から外してボディーカバーを車体から取り外す。この際ボディーカバーにつながっている配線の白色カブラの接続を外す。



②バッテリーの取り外し

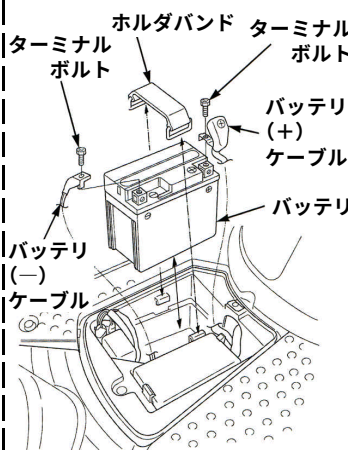
◇スクリュ1本を取り外し、バッテリーリッドの後を持ち上げながら後ろへ引いて取り外す。

使用工具
プラスドライバー中



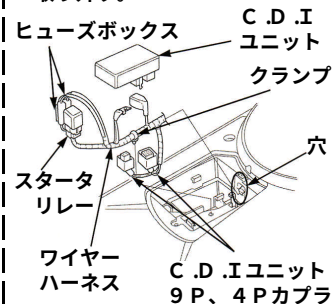
◇メインスイッチがOFFか確認する。バッテリーマイナス側のボルトを取り外し、マイナスケーブルを取り外す。バッテリープラス側のボルトを取り外し、プラスケーブルを取り外す。ホルダバンドを取り外し、バッテリーを取り外す。

使用工具
プラスドライバー中



③フロアパネルの取り外し

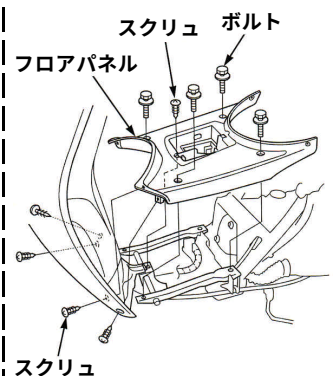
◇C.D.ユニットやスタータリレー、ヒューズボックス、ワイヤーハーネスをフロアパネルから取り外し、ワイヤーハーネスのクランプをフロアパネルから取り外す。



◇C.D.ユニット、スタータリレーのカブラの接続を外し、ワイヤーハーネスを真っ直ぐに伸ばしておく。

◇フレームとフロアパネルを止めているボルト4本とスクリュ1本、レッグシールドとフロアパネルを止めているスクリュ4本を取り外し、フロアパネルをフレームからずらす。

使用工具
ボルト : ソケット 10mm
ラチェットレンチ
スクリュ : プラスドライバー中



◇ワイヤーハーネス、ヒューズボックスをフロアパネルの穴に通し、フロアパネルを取り外す。

④二次空気供給パイプの取り外し

◇シリンダヘッドに付いている二次空気供給パイプのボルト2本を取り外す。

使用工具
ソケット 8mm
エクステンションバー中
(進行方向後側ボルトのみ)
ラチェットレンチ

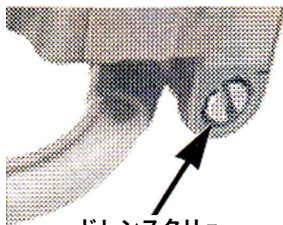


二次空気供給パイプ

⑤キャブレタの取り外し

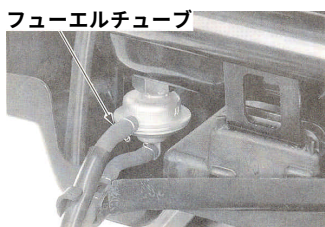
◇ドレンスクリューをゆるめ、キャブレタ内のガソリンを抜き取る。

使用工具
マイナスドライバー中



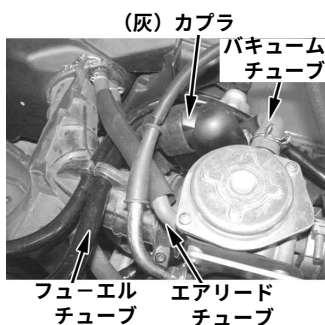
ドレンスクリュー

◇フューエルタンクの負圧コックからフューエルチューブの接続を外す。



フューエルチューブ

◇バイスターターの灰色カブラ、バキュームピストンホース、エアリードチューブの接続をキャブレタから外す。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプから外す。



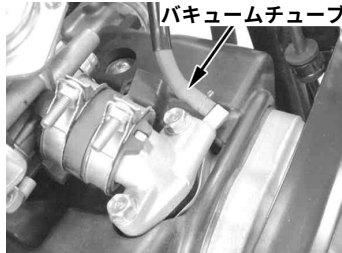
(灰) カブラ

バキュームチューブ

フューエルチューブ

エアリードチューブ

◇インテイクパイプのバキュームチューブの接続を外す。

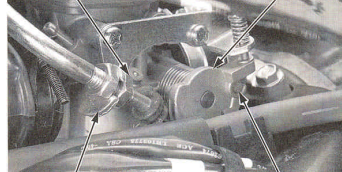


バキュームチューブ

◇アジャストナットをゆるめ、スロットルケーブルをステアから外し、スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外す。

使用工具
スパナレンチ 12mm

アジャストナット スロットルドラム

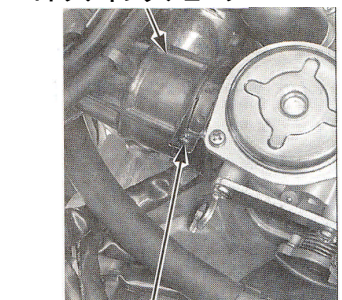


ケーブルホルダー スロットルケーブル

◇キャブレタとコネクティングチューブを止めているチューブバンドのスクリューをゆるめる。

使用工具
プラスドライバー中

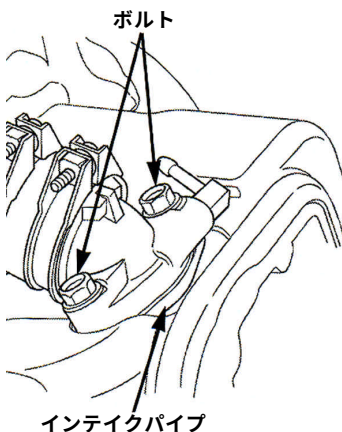
コネクティングチューブ



バンドスクリュー

◇シリンダヘッドとインテイクパイプを止めているボルト2本を取り外し、キャブレタ、インテイクパイプ、インシュレータを取り外す。

使用工具
スパナレンチ 10mm



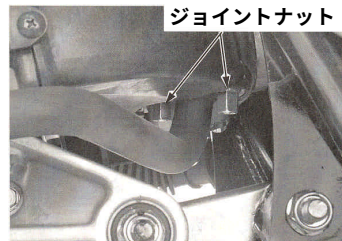
ボルト

インテイクパイプ

⑥エキゾーストマフラの取り外し

◇シリンダヘッドとエキゾーストパイプを止めているナット2個を取り外す。

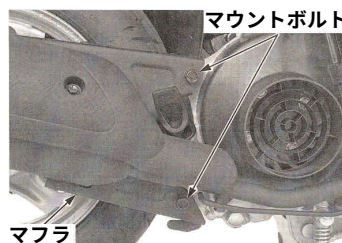
使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



ジョイントナット

◇マフラステー部のボルト2本を取り外し、マフラを取り外す。

使用工具
ソケット 12mm
ラチェットレンチ



マウントボルト

マフラ

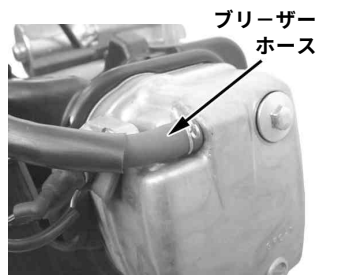
⑦ファンカバーとシュラウドの取り外し

◇ファンカバーに付いている配線のクランプを取り外す。



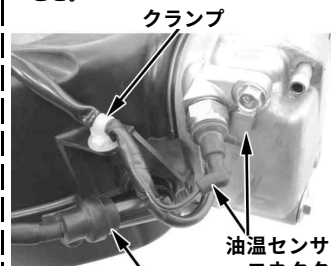
クランプ

◇シリンダヘッドカバーからブリーザーホースを取り外す。



ブリーザーホース

◇シリンダヘッドから、油温センサコネクタの接続を外し、シュラウドから配線のクランプを外す。プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。



クランプ

油温センサコネクタ

プラグキャップ

◇シュラウドのクランプからブリーザーホースと、配線を外す。

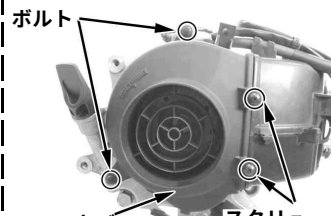


配線

ブリーザーホース

◇ファンカバーとシュラウドを止めているスクリュー2本とファンカバーとクランクケースを止めているボルト2本を取り外し、ファンカバーを取り外す。

使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト：ソケット 8mm
ラチェットレンチ



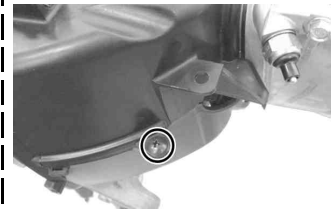
ボルト

ファンカバー

スクリュー

◇上下のシュラウドを止めているスクリュー2本とシュラウドをクランクケースに止めているボルト1本を取り外す。

使用工具
スクリュー：プラスドライバー中
ボルト：ソケット 8mm
ラチェットレンチ



◇左右の爪を外し、シュラウドを外す。

⑧スパークプラグの取り外し

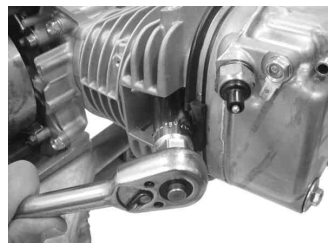
◇プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。

◇スパークプラグを取り外す。

使用工具

プラグレンチ 16mm

ラチェットレンチ



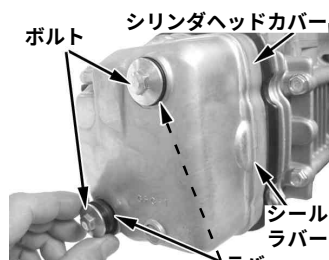
⑨シリンダヘッドカバーの取り外し

◇シリンダヘッドカバーのボルト2本を取り外し、ラバー2個、シリンダヘッドカバーを取り外す。

使用工具

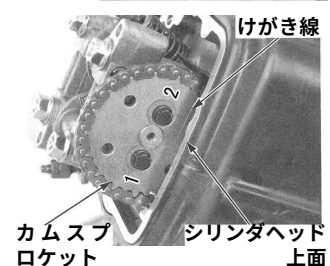
ソケット 10mm

ラチェットレンチ



⑩カムプロケットの取り外し

◇フライホイールを時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにする。



◇フライホイールを保持し、カムプロケットのボルト2本を取り外す。

使用工具

ソケット 8mm

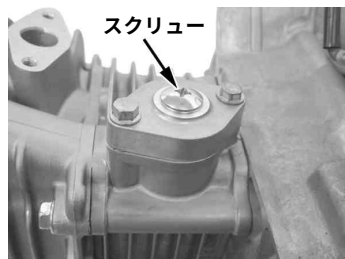
ラチェットレンチ



◇シリンダのカムチェーンテンショナのスクリューを取り外す。

使用工具

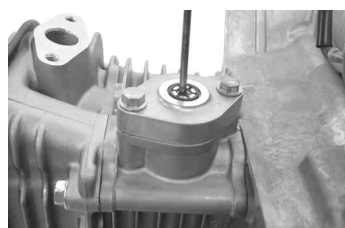
プラスドライバー大



◇カムチェーンテンショナのストッパを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。

使用工具

マイナスドライバー極細先



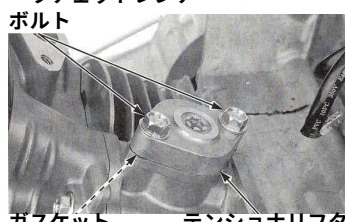
◇カムプロケットをカムシャフトから抜き、カムチェーンから取り外す。

◇2本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナを取り外す。ガスケットは再使用するので取り外しておく。

使用工具

ソケット 10mm

ラチェットレンチ



⑪シリンダヘッドの取り外し

◇シリンダヘッド横のボルト2本を取り外す。カムシャフトホルダーのナット4個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。

使用工具

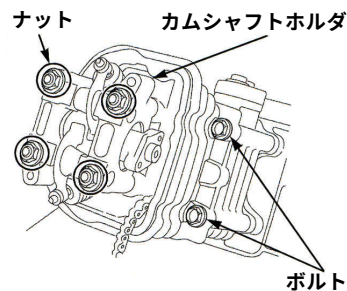
ボルト:ソケット 10mm

エクステンションバー中

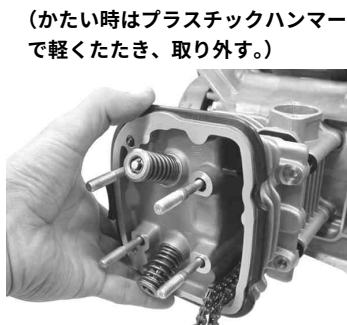
ラチェットレンチ

ナット:ソケット 12mm

ラチェットレンチ



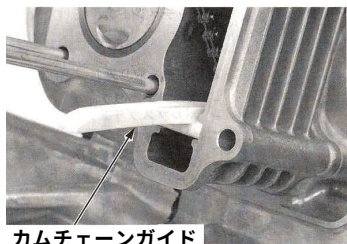
◇カムシャフトホルダーを取り外し、シリンダヘッドを取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



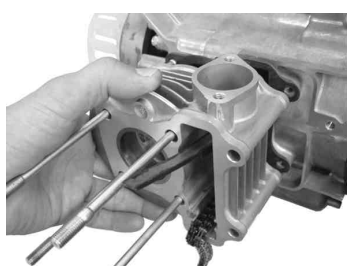
◇ノックピン4個は、再使用するの
で取り外しておく。

⑫シリンダの取り外し

◇シリンダからカムチェーンガイドを取り外す。

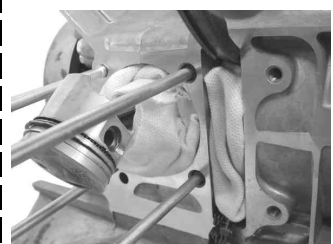


◇シリンダを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



◇ノックピン2個は再使用するの
で取り外しておく。

◇シリンダが外れた後、ゴミや部品が入らないようにきれいなウエス等をクランクケースのシリンダホールとカムチェーンホールに詰め込む。



◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。

★キズをつけないように注意。

⑬ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。

★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。

使用工具

マイナスドライバー極細先



◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。



● S-ステージKITの 取り付け

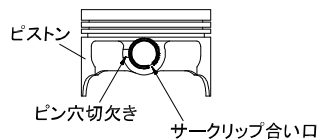
①ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

使用工具
ラジオペンチ



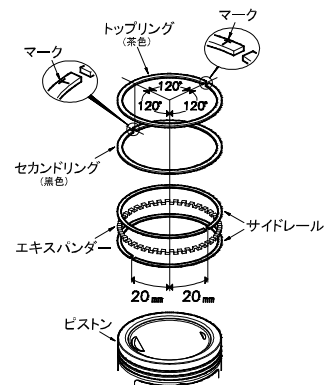
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けること。



※ピストンにキズを付けないように注意。

※取り付け中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。



◇シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。



◇ピストン頂面の“→”マークが、下(排気側)に向くようにピストンをコンロッドに取り付ける。



◇付属のピストンピンサークリップをもう片方のピン穴に取り付ける。

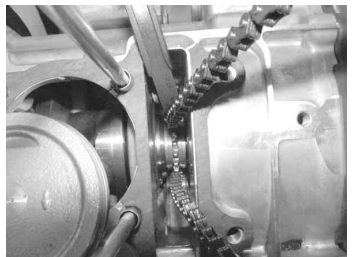
使用工具
ラジオペンチ



②シリンダの取り付け

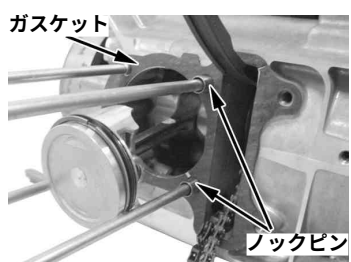
◇詰めていたウエスを取り外す。

◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのスプロケットから外れていないか確認する。



◇クランクケースとシリンダの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

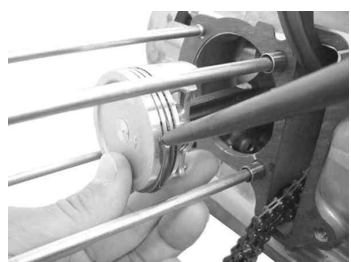
◇ノックピン2個とシリンダガスケットをクランクケースに取り付ける。



◇シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。

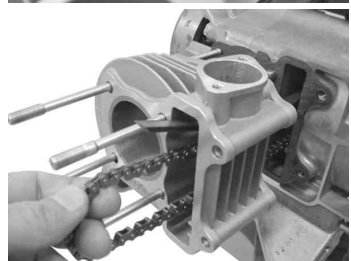
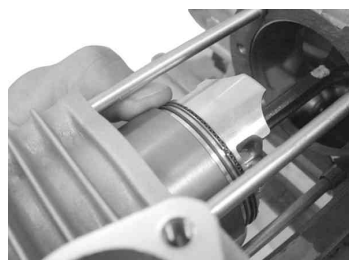


◇ピストンの全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。



◇シリンダをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダをクランクケースにはめ込む。

★シリンダがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダに通しておく。

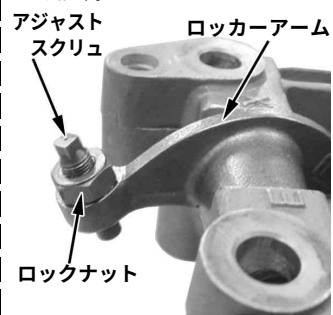


◇カムチェーンガイドをシリンダの溝にしっかりとめ込む。



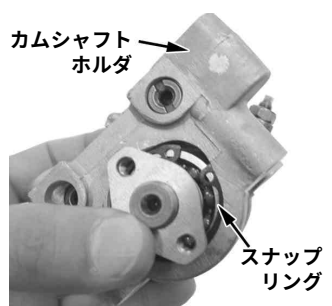
③カムシャフトの取り付け

◇ロッカーアームのアジャストスクリューロックナットをゆるめ、アジャストスクリューをゆるめておく。



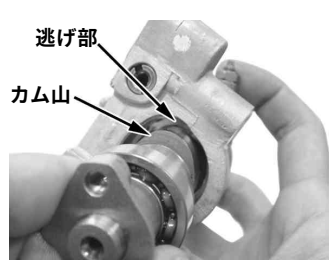
◇スナッピングをカムシャフトホルダーから取り外す。

使用工具
スナッピングブライヤー



◇カムシャフトホルダーにはカム山の逃げがあるのでカムシャフトを回しながら取り外す。

★無理に引っ張って取り外さないこと。



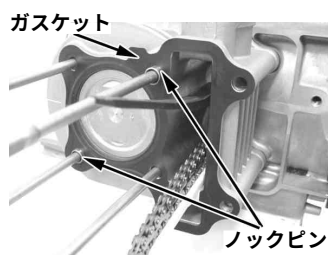
◇キットのカムシャフトをカムシャフトホルダーに同じように回しながら取り付け。

◇カムシャフトホルダーにスナッピングを取り付ける。

使用工具
スナッピングブライヤー

④シリンダヘッドの取り付け

◇シリンダとシリンダヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とシリンダヘッドガスケットをシリンダに取り付ける。



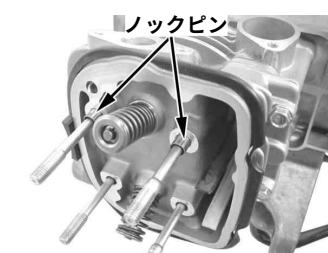
◇カムチェーンをシリンダヘッドに通し、シリンダヘッドを取り付ける。



◇シリンダヘッドにノックピン2個を取り付け、カムシャフトホルダーを取り付ける。

※このとき、カムシャフトはカム山をシリンダヘッド側にして取り付ける。

※カムシャフトホルダーは“EX”の文字が下側(排気側)になるように取り付ける。



◇ナット4個、ボルト2本を仮止めしておき、先にナットを対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

使用工具

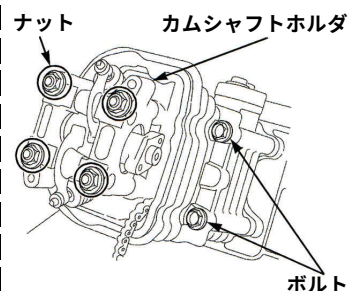
ナット：ソケット12mm
トルクレンチ

ボルト：ソケット10mm
エクステンションバー中
トルクレンチ

規定トルク

ナット：16N・m
(1.6kgf・m)

ボルト：12N・m
(1.2kgf・m)



⑤カムスプロケットの取り付け

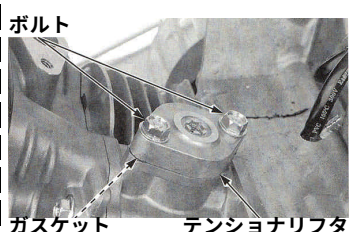
◇カムチェーンテンショナのプッシュロッドがロックしているか確認する。

◇シリンダにガスケットとカムチェーンテンショナを取り付け、2本のボルトを取り付ける。

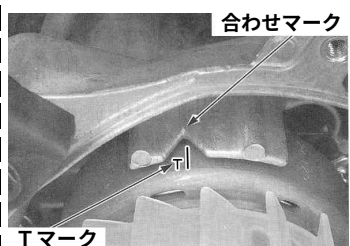
使用工具

ソケット 10mm
トルクレンチ

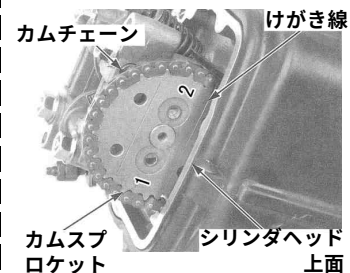
規定トルク
10N・m (1.0kgf・m)



◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。



◇カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



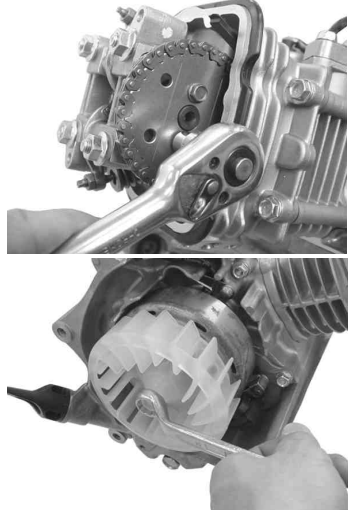
◇カムスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具

ソケット 8mm
トルクレンチ

メガネレンチ 14mm
規定トルク

9N・m (0.9kgf・m)



◇カムチェーンテンショナのストップパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。

使用工具

マイナスドライバー極細先



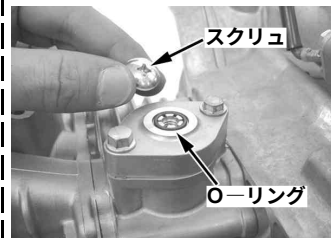
◇カムチェーンテンショナの溝にOリングが付いているのを確認し、スクリューをカムチェーンテンショナに取り付ける。

使用工具

プラスドライバー大

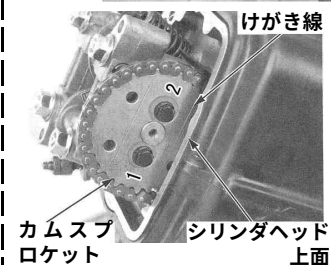
規定トルク

4N・m (0.4kgf・m)



⑥バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になっているか確認する。



◇アジャストスクリューとバルブステムの間に0.10mmのシクネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

使用工具

シクネスゲージ

メガネレンチ 9mm

ラジオペンチ

規定トルク

10N・m (1.0kgf・m)



◇フライホイールを時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

⑦シリンダヘッドカバーの取り付け

◇シリンダヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シリンダヘッドにラバー2個、ボルト2本で取り付ける。

※ラバーは“UP”マークを上に向けて取り付けること。

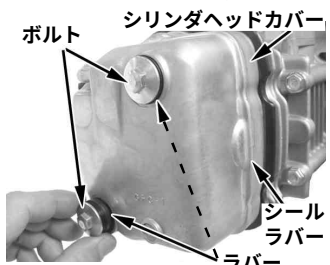
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



⑧スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。

◇プラグレンチを用いて締め付ける。

使用工具

プラグソケット 16mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



⑨ファンカバーとシュラウドの取り付け

◇上下のシュラウドをシリンダヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。

※ホースや配線を噛み込まないこと。

◇スクリー2本で上下のシュラウドを止め、クランクケースにボルトワッシャ1本で取り付ける。

使用工具

スクリー：プラスドライバー中

ボルトワッシャ：ソケット10mm

トルクレンチ

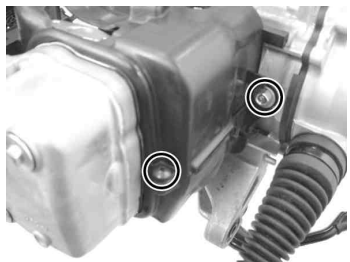
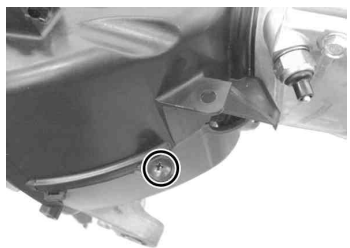
規定トルク

スクリー：2 N・m

(0.2 kgf・m)

ボルトワッシャ：7 N・m

(0.7 kgf・m)



◇ファンカバーをはめ、シュラウドにスクリー2本で、クランクケースにボルト2本で取り付ける。

使用工具

スクリー：プラスドライバー大

ボルト：ソケット 8mm

エクステンションバー小

トルクレンチ

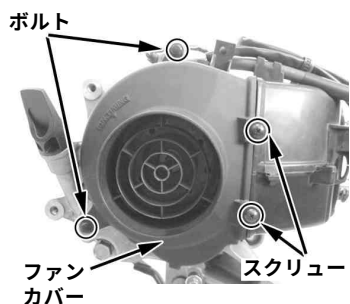
規定トルク

スクリー：2 N・m

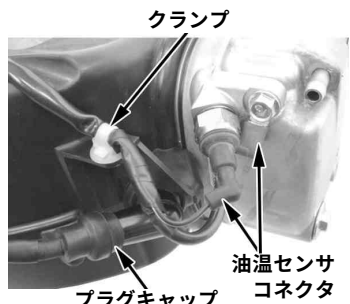
(0.2 kgf・m)

ボルト：7 N・m

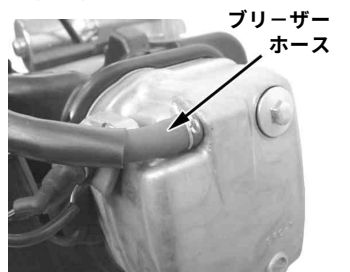
(0.7 kgf・m)



◇油温センサーコネクタをシリンダヘッドカバー油温センサー部に接続し、配線のクランプをシュラウドに取り付ける。



◇プリーザーホースをシリンダヘッドカバーに取り付け、油温センサーの配線と共にシュラウドに取り付ける。



⑩キャブレタの取り付け

◇キャブレタをコネクティングチューブにはめ込み、バンドのスクリーを締め付ける。

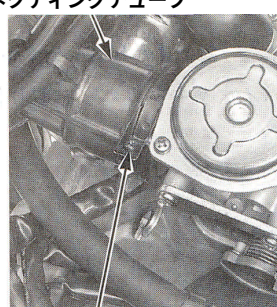
使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2 N・m (0.2 kgf・m)

コネクティングチューブ



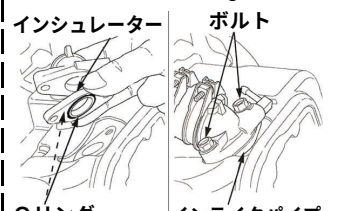
◇インシュレータの裏表にOリングが付いているのを確認してインテイクパイプとシリンダヘッドの間にはさみ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具

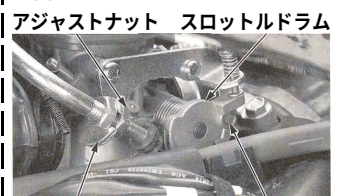
スパナレンチ 10mm

規定トルク

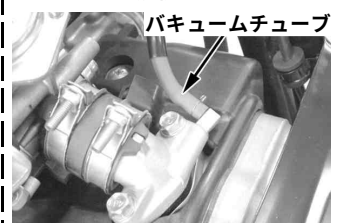
10 N・m (1.0 kgf・m)



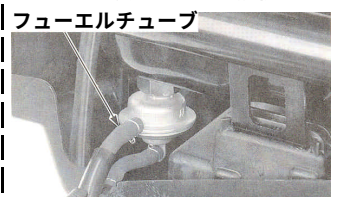
◇スロットルケーブルをキャブレタのスロットルドラムに接続し、スロットルケーブルをステーに取り付け、アジャストナットで固定する。



◇バキュームチューブをインテイクパイプに接続する。

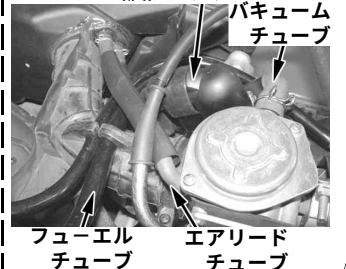


◇フューエルチューブをフューエルタンクの負圧コックに接続する。



◇バキュームピストンホース、エアリードチューブ、バイスターターの灰色カプラをキャブレタに接続する。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプに取り付ける。

(灰) カプラ



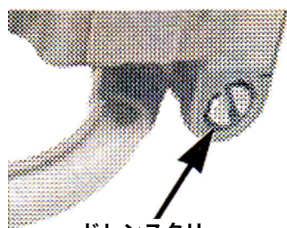
◇キャブレタのドレンスクリューが締まっているか確認する。

使用工具

マイナスドライバー中

規定トルク

1.5 N・m (0.15 kgf・m)

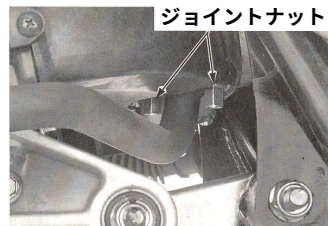


ドレンスクリュー

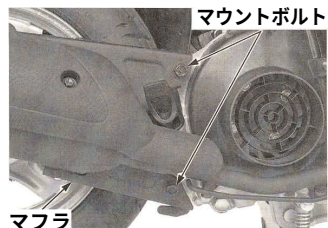
⑪エキゾーストマフラの取り付け

◇シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストマフラのフランジを差し込み、位置を合わせる。

◇エキゾーストマフラのフランジ側をナット2個で、マフラステー部をボルト2本でまず仮止める。



ジョイントナット



マウントボルト

◇まず、ナット2個を本締めし、ボルト2本を本締めする。

使用工具

ナット：ソケット 10mm

エクステンションバー中
トルクレンチ

ボルト：ソケット 12mm

トルクレンチ

規定トルク

ナット：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)

ボルト：2.6 N・m
(2.7 kgf・m)

⑫二次空気供給パイプの取り付け

◇シリンダーヘッドにガスケットとパイプをボルト2本で取り付ける。

使用工具

ソケット 8mm

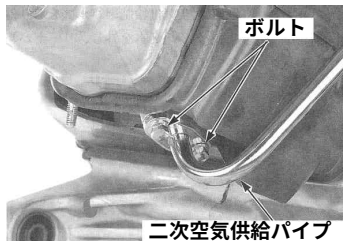
エクステンションバー中

(進行方向後側ボルトのみ)

ラチェットレンチ

規定トルク

1.0 N・m (1.0 kgf・m)



ボルト

二次空気供給パイプ

⑬フロアパネルの取り付け

◇フロアパネルの穴にワイヤーハーネスやヒューズボックスを通し、フロアパネルを車体にはめ込む。

◇フレーム側にボルト4本とスクリュー1本、レッグシールド側にスクリュー4本で取り付ける。

使用工具

スクリュー：プラスドライバー中

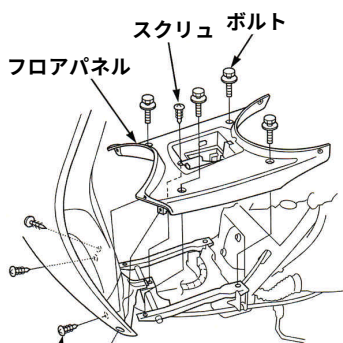
ボルト：ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

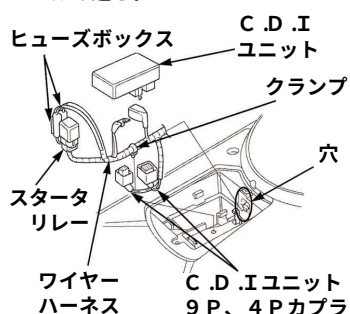
スクリュー：2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルト：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)



スクリュー

◇スタータリレーやC.D.Iユニットのカブラを接続し、フロアパネルにはめ込む。



ヒューズボックス

C.D.Iユニット

クランプ

穴

スタータリレー

ワイヤーハーネス

C.D.Iユニット
9P、4Pカブラ

⑭バッテリーの取り付け

◇メインスイッチがOFFを確認する。

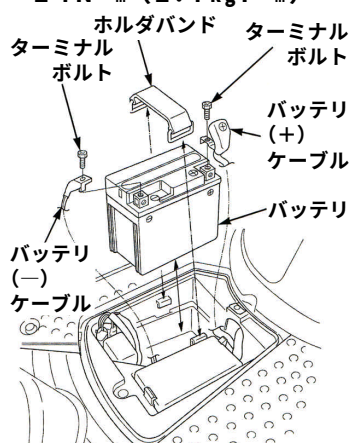
◇バッテリーをフロアパネルに入れ、ホルダバンドで固定する。バッテリーのプラス側にプラスケーブルをボルトで取り付ける。バッテリーのマイナス側にマイナスケーブルをボルトで取り付ける。

使用工具

メガネレンチ 10mm

規定トルク

1.4 N・m (1.4 kgf・m)



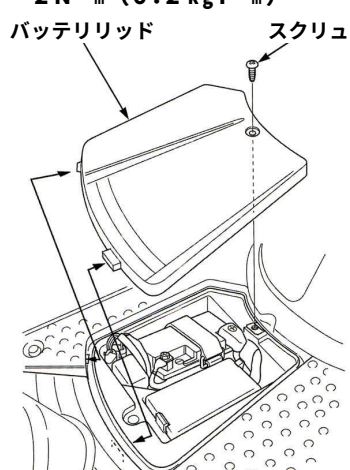
◇フロアパネルにバッテリーリッドの前部を先に差し込み、はめ込む。スクリュー1本を取り付ける。

使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2 N・m (0.2 kgf・m)



⑮ボディーカバーの取り付け

◇ボディーカバーを少し左右に広げ、車体にかぶせる。この際、配線の白色カブラを接続する。



◇ボディーカバーの前部をフロアパネルの溝にしっかりとめ込む。

◇ボディーカバー後部のリアキャリア取り付け穴とリアフェンダー取り付け穴を、フレームのそれぞれのボス部にはめ込む。

◇スクリュー2本、ボルト2本、トリムクリップ2個を取り付ける。

使用工具

スクリュー：プラスドライバー中

ボルト：ソケット 10mm

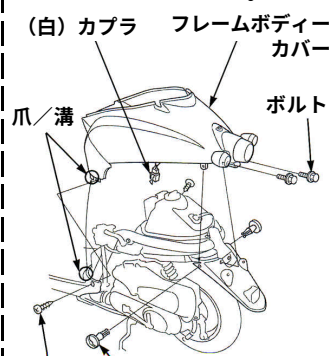
エクステンションバー小

トルクレンチ

規定トルク

スクリュー：2 N・m
(0.2 kgf・m)

ボルト：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)



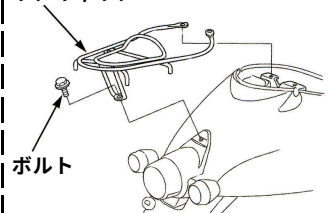
スクリュー トリムクリップ

※トリムクリップは中央部を上げておき、取り付けてから中央部を押してロックさせる。



◇リアキャリアをボルト1本で仮止める。

リアキャリア



ボルト

◇ラゲッジボックスの後部の取り付け穴2箇所をリアキャリアの取り付け穴に合わせ、ボルト4本で取り付け。リアキャリアのボルト1本を本締めする。

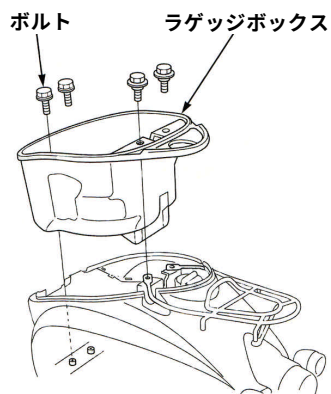
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

10N・m (1.0kgf・m)



●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。

◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。

◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検する。

◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>